

## IT CAMP 善通寺（2018～2020）について

### 1. はじめに

IT CAMP 善通寺は、善通寺市内外の多様な人たちが、「IT」を切り口に「対話」を通じて地域の課題解決に取り組む、「共創のまちづくり」事業です。

具体的には、平成30年に「IT SUMMER CAMP 善通寺 2018」として、翌令和元年には「IT CAMP 善通寺 2019」として、「共創ものづくり」をテーマに、アイデアソン形式のワークショップを開催しました。

ワークショップでは、香川の学生・IT企業の若手社員等と、県外（主に東京）の学生・IT企業の若手社員、市の職員が参加し、グループごとに善通寺市のまちづくりの課題と解決方法を考え、ITを活用したアイデアを提案しました。



それぞれ、最終日には各グループがプレゼンテーションを行い、優秀な提案をアワードとして表彰しました。

また、各グループから提案された内容は、市が実施するIT活用事業や観光宣伝事業に要素として反映されています。

## 2. 「IT CAMP 善通寺 2020」

新型コロナウイルスの感染拡大がなければ、令和3年度もアイデアソン形式のワークショップを開催する予定でした。

しかし、対面型のワークショップ開催が難しいことから、「IT SUMMER CAMP 善通寺 2018」から「IT CAMP 善通寺 2019」を経て、「IT CAMP 善通寺 2021（仮称）」へ繋げるため、東京事務局と善通寺事務局の共創事業として、善通寺市役所への来庁者向けのイベント「さくらさく・ぜんつうじ」を実施することとしました。



東京事務局は、主に日本電子専門学校と株式会社ベースメントファクトリープロダクションの有志により、善通寺事務局は、主に市職員の有志により構成されています。

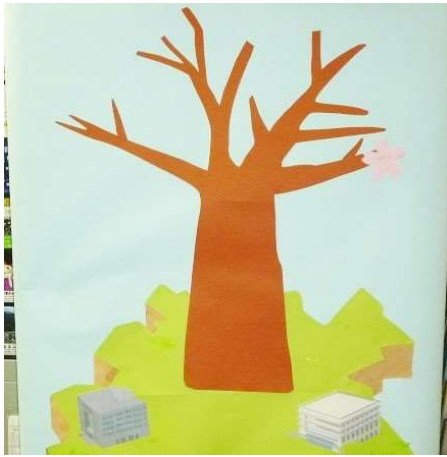
また、イベント直前の準備には、香川大学の学生も駆けつけてくれました！  
多くの方々のご協力により、「さくらさく・ぜんつうじ」は、3月15日～4月16日の約1ヶ月間、善通寺市役所1Fのロビーにて実施することができました。

「さくらさく・ぜんつうじ」は主に以下の4つのシステムから構成されます。

- ① センサー機能を活用したプロジェクション&サイネージ演出
- ② メッセージを投稿すると善通寺市に桜の花びらが増えるシステム
- ③旧庁舎と新庁舎をつなぐ桜の木にメッセージを書いた花びらを貼り付けるシステム
- ④ネツミル（兼任運用が可能な検温ソリューション）











イベント終了時には、「想い、つながる、ぜんつうじ桜」が満開になりました！  
ご参加いただいた皆さん、また、応援していただいた皆さん、本当にありがとうございました。  
ございました。

